

令和6年4月

Skyline 製品ご利用者各位

株式会社パスコ
Skyline 製品サポート窓口

TerraExplorer for Desktop Ver8.0 リリースのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

Skyline 社は、TerraExplorer for Desktop Ver8.0 (新バージョン、以降 TED8.0 と記載) 日本語版をリリースしました。TerraExplorer for Desktop の保守契約の期間内であれば、新バージョンをご利用頂けます。SkylineGate (Skyline 製品サポートサイト) にて、インストーラの公開とバージョン 8.0 のライセンスファイルをユーザーアカウントごとに公開しますので、ダウンロードおよびインストールください。SkylineGate へのサインインは、購入時にお渡ししている SkylineGate 登録情報のシートを確認ください。不明点がございましたら、サポート窓口までご連絡をお願いします。

なお、保守期間が満了している場合は、新バージョンをご利用頂くことができません。保守期間が満了のご利用者様におかれましては、保守契約の更新 (保守期間の遡りによる継続更新) をご検討くださいますようお願い申し上げます。

■TerraExplorer for Desktop Ver8.0 の主なアップデート内容

TED8.0 でアップデートされる内容を以下に示します。

- BIM モデル (IFC, FBX) のサポート強化 (日本座標系対応等)
- プレゼンテーションツールの全面改良
- 3D メッシュレイヤのエクスポート機能追加
- Hololens を用いた複合現実モード (Mixed Reality) 機能の搭載
- Google Earth 3D タイル読み込み機能追加
- 写真検査機能、解析ツールの改良
- Microsoft Edge 対応
- バグ修正と安定性の向上

TED8.0 のメインアップデートである「BIMモデルのサポート強化」と「プレゼンテーションツールの全面改良」について紹介します。

- 「BIMモデルのサポート強化」：バージョン 7.4 では WGS84 座標系データのみインポート可能でしたが、バージョン 8.0 では、日本の測地座標系を含む各種座標系に対応しました。
- 「プレゼンテーションツールの全面改良」：ワークフローの簡略化を図るために、複数アクションを制御できる「ステップ」機能が加わり、表示の柔軟性が向上されました。

TED8.0 の詳細なアップデート内容については、リリースノートを参照ください。

敬具